



学校から帰るとちゅう、杏奈ちゃんがニコニコしながらあたしに言った。

「ねえ、サキちゃん、きょう、ふれあいモールにいっしょに行かない？ この前、かわいいボールペン見つけたから、きょう買いに行きたいんだ」

「えっ、きょう？」

ふれあいモールというのは駅前にあるショッピングセンターで、その中のファンシーグッズのお店にはかわいい文房具がいっぱいある。杏奈ちゃんが見つけたかわいいボールペンっていうのを見てみたいけど、でも、きょうは……。

「サキちゃん、きょうは習いごと何もないよね？ よっちゃんをさそつてもいいけど、よっちゃんよりサキちゃんに行くほうが楽しいし、よっちゃんって自分の意見を人にお

しつけてくるから、ああいうのちよつとむかつくんだよね。サキちゃんもそう思わない？」

「えっ、うん、そういえばそうかも……」

ついで、うなずいてしまった。たしかに、よっちゃんはいつも自分の意見がいちばんって感じてしゃべるし、それを杏奈ちゃんがいやがってることも知っている。でも、よっちゃんに悪気はないんだ。あたしはどっちの気持ちもわかるから、いつもふたりの間でハラハラしている。

「きょうならサキちゃんといっしょに行けるかなと思ってただけど、どうかな？」

「え、うん、大丈夫だよ」

気がつくのと、あたしの口が勝手にそう言っていた。「よかったあ。じゃあ、あとでむかえに行くね」